

平成25年度 医動物・食品中異物検査のまとめ

医動物担当では、人の健康を害したり、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者等の依頼を受けて、昆虫類を中心に食品へ混入した異物の検査を行っています。平成25年度の食品中異物検査実績は、9件でした。

依頼された9件はすべて昆虫類でした。その内訳は、チョウ目5件、ゴキブリ目2件、コウチュウ目1件、ハエ目1件でした。今回は、同定結果の詳細を報告します。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
購入したサンドイッチに幼虫が混入	 幼虫、緑色、約35mm	オオタバコガの幼虫 (チョウ目)	幼虫は葉のみでなく、果実や種子に潜り込み、食害することもある。幼虫の食相は広く、イネ科、アオイ科、アブラナ科、ウリ科、キク科、ナス科等多種の植物を食害する。
しその実の幼虫が付着	 幼虫、茶褐色、約25mm	ヤガ科の一種 (チョウ目)	日本最大の科で多くの亜科に分かれている。幼虫の食性は多様で、野菜類のほか、各種雑草や樹木の葉等を食害する。
スープに幼虫が混入していた	 幼虫、黄白色、約9mm	チョウ目の一種 (チョウ目)	ガ類成虫は一般に夜行性で、灯火に集まる。主に幼虫が食品を加害し、その生活様式は多様で、一般的には植物や乾燥動植物等を食害する。
ミックスフルーツに幼虫が混入	 幼虫、茶褐色、約7mm	チョウ目の一種 (チョウ目)	同上

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
ミックスフルーツに幼虫が混入		チョウ目の一種 (チョウ目)	前ページと同様
	幼虫、黄白色、約12mm		
あんぱんに虫体の一部が混入		ゴキブリ科の一種 (ゴキブリ目)	屋内で見られるゴキブリは雑食性で、多くの植物性、動物性の食品を食害する。成虫幼虫ともに日中は屋内の潜伏場所で過ごし、夜になると餌と水を求めて活動する。
			
	成虫、茶褐色、翅長約30mm		
しゅうまいの箱内に虫が混入		チャバネゴキブリの雌 (ゴキブリ目)	代表的な屋内ゴキブリで、ビル、レストラン、病院、など暖房設備が完備されたコンクリート住宅などに特に多く見られる。日本では全国各地に分布する。
	成虫、茶褐色、約13mm		
中国茶に幼虫が混入		タバコシバンムシの幼虫 (コウチュウ目)	食品を加害するのは幼虫のみで、その食性は広く、被害食品の種類は100種をこえる。乾燥植物質、穀類の粉、香辛料、パン、菓子類など、多くの食品を加害する代表的な食品害虫である。
	幼虫、乳白色、約2mm		
しゅうまいに脚が付着		大型ハエ類の脚 (ハエ目)	ハエ類の幼虫は、食物残渣、動物糞、ゴミ処理場のゴミなど、あらゆる動物質や植物質の有機物から発生する。屋内外で発生するが、屋外発生種であっても屋内侵入性が高い種もいる。
	成虫、黒色、約35mm		

【 検査研究課 医動物担当 】